

令和6年度 児童朝会（講話96）

令和7年3月3日【特別編3月3日】

おはようございます。三寒四温。土曜日曜と暖かく、今日はまた寒いですね。こうして寒い日と暖かい日を繰り返しながら、だんだん春が近づいてくるのです。

先週は、学ぶってなんだろうというお題でした。勉強する、知識を得ること、学はまねぶからきているから、まねるだと思うなどの意見がありました。また、学ぶという漢字のでき方からは。赤ちゃんが成長するという考えなどもありました。書いていただいたみなさん、ありがとうございます。

さて今日は3月3日、何の日かな？3を「み」ともいうので、3、3で「耳の日」とも言いますが、きょうは3月3日なので「ひな祭り」のお話をしようと思います。

ひな祭りってどんなおまつりでしょうか？そう、女の子の健康や成長を願うお祭りですね。ひな人形をかざることも多いです。では、なぜ人形を飾るのでしょうか？ヒントは、ひな祭りの別名にあります。

ひな祭りは桃の節句とも言われます。だから雛飾りの周りには、桃の花を飾ることが多いのですが、なぜ桃の花を飾るのでしょうか？少し周りの人と聞き合ってみてください。

それは、昔中国で、桃の花には魔除け、ラッキーを呼び込む効果があると言われていました。だから、今でもお寺の屋根などには桃が飾られていることが多いのです。

ではなぜ、人形を飾るのでしょうか？それは、桃の花と同じような理由なのです。ひな祭りの始まり。それは、昔、中国では3月3日に川辺であることをしていました。何をしていたと思いませんか？

それは、紙で人形をつくり、その人形に自分にとって治したいことなどを吹き込みます。例えば、朝寝坊するくせ、忘れ物をするくせなどです。そしてその紙人形を川に流すと、そういう自分の悪いところを流すことができるそうなのです。これがひなまつりの始まりでした。

では、なぜこの魔除けのお祭りが女の子をお祝いするお祭りになったのでしょうか？それは1000年ぐらい前の平安時代の日本に、中国からこの祭りが伝わったのですが、そのとき日本ではひいな遊びという遊びがはやっていました。ひいな遊びというのは、紙で作ったお人形遊びで、当時の女の子の間ではやっていました。このひいな遊びと、中国の魔除けの祭りが合わさって人形をかざる女の子をお祝いするひな祭りができたと考えられています。

今週は、自分がなおしたいこと、川に流したいことってありますか。思い浮かんだ人は、校長室前のボードに書きにきてください。

今日も最後まで聞いていただき、ありがとうございました。

